

表 令和5年2月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第16～25号	3日、6日 16時00分 8日 11時40分 16時00分 10日、13日、17日、20日、24日、27日 16時00分	活発な噴火活動が継続。南岳山頂火口の噴火、爆発の発生、噴煙、火映、大きな噴石飛散の状況。8日に昭和火口でごく小規模な噴火が発生（2018/4/3以来）。以降、昭和火口と南岳山頂火口で噴火が発生。現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量。上空からの観測の状況。火山性地震、微動の発生状況。傾斜計及び伸縮計では、1月14日頃から山体膨張を示す緩やかな地殻変動を、引き続き観測。始良カルデラ地下のマグマ蓄積の状況。
		降灰予報(速報)	14日 15時02分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	14日 15時13分	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第10、11号	6日、13日 16時00分	噴火活動は継続。爆発の発生状況、大きな噴石飛散。集落での鳴動と降灰の状況。地殻変動で島西側深部のマグマ蓄積量の増加は認められない。火山性地震も減少し少ない状態。
		解説情報(臨時) 第12～16号	15日 22時10分 16日 10時00分 16時00分 17日、18日 16時00分	13日頃から爆発が増加し、噴火活動が活発化。15日21時30分の爆発で大きな噴石が火口から900mに達した。その後は1km付近に達する噴石の観測はなく、爆発は16日以降は次第に減少。
		解説情報 第17、18号	20日、27日 16時00分	噴火活動は継続。爆発の発生状況、大きな噴石飛散。集落での鳴動と降灰の状況。火山性地震、微動の発生状況。島西側のやや深部へのマグマの蓄積を示唆する傾斜変動。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第6～9号	6日、13日、20日、27日 16時00分	噴煙、火映、火山性地震、地殻変動等の火山活動の状況。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第14～16号	3日、6日 16時00分 8日 09時00分	火山性微動の振幅がやや大きい状態で推移していたところ、8日06時30分頃から次第に増大。
		解説情報(臨時) 第17～20号	8日 13時20分 16時00分 9日、10日 16時00分	火山性微動の振幅が次第に増大していたところ、8日13時頃に急激に減少し、振幅が変動。その後は緩やかに増大し大きな状態で推移。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない状態。
		解説情報 第21～23号	13日、20日、27日 16時00分	火山性微動の振幅は、次第に増大と減少を経て、20日から次第に増大して23日以降やや大きい状態で推移。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は少ない。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 阿蘇山、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報（定時）を発表している。